



8/6 Hirado City Photo News 歴史と文化に触れる交流



平戸市・枝幸町いきいき交流事業で、北海道枝幸町から中学生など8人の訪問団が平戸市を訪れました。この交流は、旧生月町(現平戸市)と旧歌登町(現枝幸町)の「国道も鉄道もない市町村連絡会議(ないないサミット)」でのつながりがきっかけで、平成14年から行われています。

期間中は、平戸城や松浦史料博物館など平戸市内施設の見学や、紙漉の里での紙漉体験などを行いました。また、9日は田平中学校の平和学習に参加し地元の中学生と交流しました。

8/5 Hirado City Photo News 中学生が考える平戸の未来



未来創造館で「ふるさとの未来を語ろう座談会」が開催され、平戸市内8つの中学校から18人の中学生が参加しました。座談会では、「松浦市のアジフライに対抗できる『食』について考えよう!」をテーマに、グループに分かれて議論が行われました。

松尾市長や入口教育長から助言を受けながら白熱した意見交換が行われ、「アゴを使った特産品の開発」や「シイラフライに合う平戸夏香・アスパラガスを使ったタルタルソース開発」など、中学生ならではの柔軟な発想からさまざまな意見が出されました。

7/18 Hirado City Photo News 高校生がゴミ拾いで競う



荒崎海水浴場(古江町)でスポGOMI甲子園2026長崎県大会が開催されました。

スポGOMI甲子園は、高校生が3人1組で拾ったゴミの種類や重さでポイントを競う地球にもっとも優しいスポーツです。

平戸市内外から20チーム60人の高校生が参加し、1時間で合計191.97キログラムのゴミを拾いました。46.68キログラムのゴミを拾って優勝した平戸高校の「きたべっぴ」チームは、11月22日(日)に東京で行われる全国大会に出場予定です。

7/18 Hirado City Photo News 輝くランタン、熱いステージ



7月4日～26日に開催された鄭成功ランタンナイト七夕光の宴の関連イベント「鄭成功フェスティバル」が鄭成功記念館特設ステージ(川内町)で行われ、地元特産のすり身揚げや、筑紫女学園大学の学生が鄭成功ソーダの販売を行うなど、多くの出店が並びました。

またステージでは、YOSAKOIやダンス、権現太鼓やバンド演奏、カラオケ大会、中野愛児園のお遊戯、川内町踊り、子どもジャンガラが披露され、会場は大いに賑わいました。

8/13 Hirado City Photo News 受け継がれる夏の風物詩



紙で作った花などで飾り付けた笠を被って五穀豊穡や地域の繁栄を祈願して舞う「ジャンガラ」や「須古踊り」が平戸市内各地で奉納されました。

今年は、7地区(戸石川、川内、山中、紐差、宝亀、中津良、津吉)のジャンガラと4地区(獅子、的山、神浦、館浦)の須古踊りが行われました。

写真は中津良地区のジャンガラです。1日かけて地域を練り歩き、神社などで踊りを奉納します。堤の漁港では船で入港し、美しい海を背景に舞う姿に、大きな拍手が送られました。

8/10 Hirado City Photo News スポーツがつなぐ友好の輪



韓国・慶尚南道南海郡の宝島南海スポーツクラブから小学生ら25人が来平し、平戸市内のサッカークラブに所属する小学生とその家族との交流が行われました。韓国から参加した小学生は平戸の子どもたちの家にホームステイしたほか、平戸市内の観光施設を見学し、地域の文化に触れながら交流を深めました。

また、サッカーの親善試合も行われ、スポーツを通じて子どもから大人まで、言葉や文化の違いを越えて仲を深める姿が見られました。

8/1 Hirado City Photo News 商店街の夏のにぎわい



旧十八銀行駐車場で「商店街にぎわい夏まつり」が開催されました。屋台やキッチンカー、ふうせんコーナー、わたがし体験、輪投げなど、子どもから大人まで楽しめる催しが並び、多くの来場者でにぎわいました。

また、会場では7月に発生した熊本地震の災害支援のため、義援金の受付が行われました。8月7日に平戸料飲業組合の鴨川組合長が市長室を訪れ、集まった義援金を松尾市長へ手渡しました。この義援金は日本赤十字社を通して被災地へ届けられます。

8/1 Hirado City Photo News 森の秘密を楽しく学ぶ



ふれあいセンターで、小学生を対象に「ひらどエコフェスタ フィールドワーク編～木になる森のひみつ～」が開催され、11組34人が参加しました。

安満岳では、平戸市森林組合のプロセッサーを使ったヒノキの伐採作業を見学。普段はなかなか見ることのできない迫力の作業に触れ、参加した子どもたちはわくわくした表情で見入っていました。

その他にも、木育積み木や、太陽光パネルで回転する木製の人工衛星の工作などを通じて、森や木の大切さについて学びました。